

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、ブラジル連邦警察が下院議長Cunha氏のブラジリアにある議長公邸とリオデジャネイロの自宅で強制捜査を行ったことを受け、取引序盤はレアル売りが進行(Cunha議長は議会でルセフ大統領の弾劾手続きを開始していたものの、議長を対象とした家宅捜査と倫理問題が浮上したことで、弾劾手続きを求める動きは後退せざるを得ない、との観測が強まった)。一時3.91台前半を付けた。しかし、商品価格の反発もあり、引けにかけては水準を取り戻し、3.87台前半で取引を終えた。本日は注目のFOMCが公表される。米国経済の見通し(労働市場の一段の改善とインフレ率の2%への緩やかな回帰)を踏まえると、FRBが2006年以来となる利上げを決断できる環境は整っていると推測され、実際、マーケットの大半は本日の会合で利上げが実施されると予想している。従って、マーケットは「利上げ実施の有無」に加えて、「今後の金利軌道についてどのような見解が示されるか」にも注目していると考えられる。

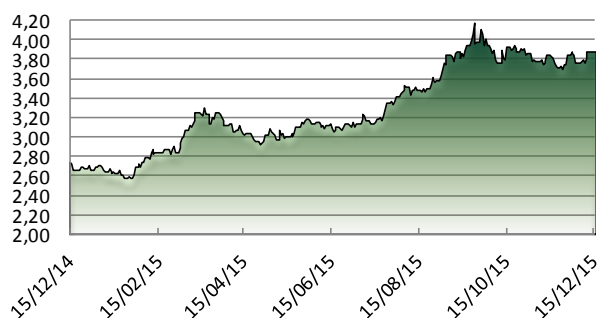
米利上げに対する(レアルを含む)新興国通貨の反応は、事前に織り込みが進んでいたことから限定的になると見ているが、ムーディーズは、「為替と金融市場の不安定を招く国内問題を抱えている」ことを要因として、ブラジルやトルコ、ロシアが利上げの影響を最も受けやすいと指摘している。

マーケットデータ

Indicator		Unit	12月14日	12月15日	前日比	11月13日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,8734	3,8714	-0,0020	3,8494	+0,0220
	対円	JPY	31,21	31,42	+0,21	31,85	-0,43
	対ユーロ	BRL	4,2618	4,2278	-0,0340	4,1330	+0,0948
円	対ドル	JPY	121,03	121,68	+0,6500	122,61	-0,9300
	対ユーロ	JPY	133,04	132,99	-0,05	132,09	+0,90
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	44.747	44.872	+125	46.517	-1.645
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	471,1	456,6	-14,5	434,1	+22,5
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	15,91	15,94	+0,03	15,54	+0,40
DI Future Jan17 (金利先物)		%	16,05	15,98	-0,07	15,58	+0,40
3 Months US Dollar Libor		%	0,518	0,518	+0,000	0,364	+0,154
CRB Index (国際商品指数)		Index	174,3	174,2	-0,1	184,8	-10,6

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

